

御前崎のツーリング案内人

すぎもと すすか  
杉本紗加さん



— PROFILE —

すぎもと すすか(上岬区・31歳)  
「岬の宿八潮」の若女将。愛知淑徳大学卒業後、デザイン会社に就職。  
趣味はカメラ(Sonyの a7 IV)と猫。愛車は KAWASAKIの Ninja250。  
#オマエザキライダーのイベントでは撮影も担当している。



▲岬の宿八潮

▲SUZU ゆるライド

「岬の宿八潮」の若女将としてホスピタリティを提供する傍ら、御前崎市を中心に地域の魅力をYouTubeで発信している杉本紗加さん(上岬区)。地元グルメや隠れた観光スポットを、自身のバイクで足を運びながら紹介している。動画をきっかけにスポットを訪れる視聴者と地域との新たな交流も広がっている。

地元で愛されるチャンネル

バイクに興味を持ったのは3歳。バイクの後部座席に乗り「かっこいい」と感じたことがきっかけだった。23歳のとき、免許を取得。愛知県で就職した紗加さんは、帰省した際にバイクに乗り、御前崎の景色を楽しんでいた。

この頃から地元愛が強くなり、30歳を機に実家が営む「岬の宿八潮」を継ぐと決め、帰郷。宿泊者からおすすめの観光地などについて聞かれることが多く、情報発信の必要性を感じていた。動画制作に興味があったことから活動を始め、「地元で愛されるチャンネル」を目指している紗加さん。取材や撮影では、店主らとの会話を楽しみ、投稿後にはお

礼の挨拶を訪れるなど、人とのつながりを大切にしている。自身が感じた魅力に加え、ライダー目線で周辺環境や立ち寄りやすさなどにも配慮した情報発信を心がけているという。

動画編集は、未経験からの挑戦。どんな人にも動画を楽しんでもらうため、時間がかかっても全ての動画にテロップを入れていく。視聴者の「行ってみます」「行ってきました」などのコメントが励みだ。

御前崎の魅力を映像に

紗加さんは、活動を通じて御前崎には「未知の魅力」があると実感。「今後は歴史や民話、宿にも焦点を当てたい。私のYouTubeを見て実際に訪れるライダーが増えれば、経済効果も上がると思う。特にライダーはフットワークが軽く、SNSの発信もママです。全国のライダーの力を借りて御前崎の知名度も上げ、誘客につなげたい」と紗加さんは話す。晴れた日にはカメラを携えて活動する紗加さん。御前崎への愛を胸に、魅力を全国へ届ける挑戦はこれからも続いていく。